

令和2年度第1回青少年ホーム運営委員会 会議録

1 日時

令和2年6月24日(水) 19時から20時

2 場所

松本市なんなんひろば 郷土資料室

3 出席者

矢吹委員、内田委員、五味委員、二茅委員、天白委員、田中委員、勝亦委員

4 事務局

栗田生涯学習課長、中山青少年ホーム所長、竹内青少年ホーム主任

5 議事

- (1) 令和元年度事業報告
- (2) 令和2年度事業計画・予算について
- (3) 令和2年度青少年ホーム事業について

ア 青少年ホームの若者対策事業

イ コーディネーター事業

ウ 若者カフェ

エ 松本若者会議

オ 新成人松本若者会議

カ 職人から学ぶ講座

キ ヤングスクールオンライン講座

6 意見

- (1)若者のまちづくりへの参画について

ア 小布施町の若者会議に7年間携わっていました。活動を始めたきっかけは小布施町には若い人が自由に意見を言える場がなかったことでした。「人が来る流れを作りたい」というテーマの元、多くの若者と話し合う中で重要だと感じたことは「人が集まるための仕掛け」を工夫してゆくことだと思いました。松本は集まれる場所がある、人も大勢いるので、人と人とが関わるための仕掛けを工夫すれば人は集まって、よりいい意見も出て、さらに良い活動ができると思います。

- (2)青少年ホームの活動について

ア 県外出身の自分が青少年ホームに通うきっかけになったのは、会社の先輩から誘われ試しに来てみたところ、①県外出身者が以外と大勢いたこと、②境遇が似ている方が多かったこと、③気の合う友人が出来たことがきっかけでした。今年度は新型コロナウイルスの影響でイベント等中止が多いですが、県外や市外から松本に転勤などで来られた人にも魅力を感じていただけるような活動も利用者の会として考えてゆきたいと思います。

イ 信州大学から青少年ホーム（なんなんひろば）は学生の移動手段では遠いと思いません。CHANGE(学生団体)の活動の場として、市街地でイベントなどできる場所は地区公民館しかないと思っていたのですが、青少年ホームでもなにか活動してゆきたいと思います。

ウ 青少年ホームの良いところは社会人と学生が自身のキャリアアップとして共に学べ、サークルや講座などで運動もできる、やりたいことは比較的なんでもできることが魅力だと思います。

エ 松本市は他市町村に比べて若者は多いと思いますが、現代の若者の傾向として自発的に活動する方は少ないと感じています。先頭に立って先導してくれるようなキーマンへ上手くアプローチすることができればサークル活動の活発化やまちづくりのきっかけづくりにもつながってくると思います。小布施町ではお寺の住職がスラックライン(新しいスポーツ)を無料で使えるスペースをお寺の敷地内に作ったことで人が集まり、結果的に子どもたちの育成や視野を広げることに繋がっていると聞いています。キーマンを見つけることも大事だと思います。

オ 新型コロナウイルスの影響でサークル活動ができない時期が続きましたが、「学びたい、友達がほしい」気持ちは何歳になっても一緒だと思います。これからも若者の活動支援を行ってゆきたいと思います。

(3)引きこもり支援について

ア 中学生高校生の引きこもり者はスクールソーシャルワーカーから紹介されるケースが主で、話し相手を求めているケースが多いです。学校や家庭以外の居場所を求めている子が比較的多いため、身近に気軽に参加できる居場所があれば来やすいと感じています。また、引きこもりに関しては家族が心配してくるケースが多いため、情報を家族に伝えてあげると効果的だと思います。参加しやすいことと、自分の話を聞いてくれる、共感してくれる方がいる、そういった場所が大事だと感じています。

イ 引きこもりの方を集めるには建物の構造や建屋だけ工夫しても解決できないと感じています。良い設備があってもそこに仕掛けがなければ人は集まらないので、ソフト面も工夫することが大事かと思っています。